

2002年 (平成14年) 10大ニュース!

順位	項目	内容	
1	21世紀の新しい鳥取市をめざした竹内市政がスタート(4月)	任期満了に伴う市長選挙が4月7日行われ、竹内功市長が初当選を果たしました。竹内市長は就任早々、市長室を開放し、訪れた市民と直接語り合いました。また、8月には市内105か所の公共施設に「市政提案箱」を設置したほか、9月に市役所本庁舎1階に「市民談話室」を設け、市民との対話を進めるなど、「市民が主役の新しい市政の実現」をめざした市政が始まりました。	
2	市町村合併に向けての協議会を設置(11月)	11月15日、鳥取市と国府町および福部村、鳥取市と河原町、鳥取市と鹿野町による郡単位の合併協議会を設置しました。また、同日、用瀬町と佐治村が、12月6日には気高町と青谷町がそれぞれの合併協議会に加入の申し入れを行いました。これにより、鳥取市は平成16年10月の合併を目標に、8町村と協議を進めていくことになりました。	
3	第17回国民文化祭・とっとり2002の開催(10月、11月)	10月12日から11月4日までの24日間、県下34市町村で39の事業が開催された「夢フェスタとっとり」。鳥取市でも、オープニングパレードのほか、16のイベントが盛大に行われました。市民もボランティアとして多くのおみなさんが参加し汗を流しました。また、文化活動への参加の機運も高まりました。	
4	急速ろ過方式の浄水場建設工事の一時中止(4月)と浄水施設見直し検討委員会の設置(8月)	鳥取市水道局が建設を進めていた急速ろ過法による浄水施設について、新たに就任した竹内市長が工事の一時中止を指示。その後、公募委員も含めた浄水施設見直し検討委員会で、白紙の状態から見直しを行いました。11月9日、同委員会は、鳥取市に最も適したろ過方法は膜ろ過法とする最終報告を行いました。	
5	サッカーW杯出場のエクアドル代表チームが公式キャンプを行い、新しい交流が芽生える。(5月、6月)	サッカーワールドカップに出場したエクアドルチームが、5月18日から6月8日まで公式キャンプを行いました。期間中、市民は選手たちを暖かく迎え入れ、試合では日本とともにエクアドルを応援し、大いに盛り上がりました。6月28日には、エクアドルから、その功績を称え国家功労章が授与されました。11月には、竹内市長が同国を訪問するなど、新たな交流が始まろうとしています。	
6	「市政を考える市民100人委員会」が市政改革への提言書まとめる(11月)	公募委員ら136人が参加し、市政の改革について検討を進めていた「市政を考える市民100人委員会」が、13分野、384項目の提言をまとめ、11月19日竹内市長に提出しました。これを受けて鳥取市は、市政改革計画を12月中に取りまとめることとしています。	
7	鳥取市男女共同参画推進条例の施行(4月)と男女共同参画センター「輝(き)なんせ鳥取」のオープン(10月)	8	鳥取市議会議員選挙が行われ32人の新しい議員が決まる(11月)
9	わらべ館駐車場隣接地(西町4丁目地内)を鳥取市が取得(11月)	10	姫路鳥取線の早期整備の声高まる



浄水場建設工事を一時中止しています



竹内市政がスタートしました



エクアドルの応援で燃えました



夢フェスタととつりで盛り上がりました